

プログラム

●集合研修 1 日目（災害対応）

11月 25 日(月)

【演習: 講義】

時間 ()内分	研修形 態	プログラム	ねらい	学習内容	講師
9 : 30 (15 分)		開講式：岩手県看護協会長・岩手県担当者挨拶、オリエンテーション（協会研修担当者）			
9 : 45～ 10 : 35 (50 分)	講義	岩手県における 災害・新興感染 症に係る派遣時 の看護支援活動	災害時及び新興感染 症の発生・蔓延時の看 護活動の実際を想定 することができる	・岩手県の災害・新興感染症に 係る派遣・医療提供体制の状況 や対策（派遣の仕組み、登録含 む） ・岩手県看護協会における災 害・新興感染症に係る派遣時の 看護支援活動	岩手医科大学医 学部 救急・災害 総合医学講座 教授 眞瀬智彦
10 : 35～ 10 : 45 (10 分)	講義	災害支援ナース としての心構え	派遣に際し、受援者や 支援者が相互協力す るために必要な知識 を学ぶ	派遣の際に受援者・支援者の間 に生じやすい役割期待のずれな どを事例を通して理解し、派遣 の心構えを学ぶ	岩手県看護協会 防災・災害看護委 員長 畠山亜紀子

【演習(災害)】災害時の看護職の活動の実際 講義・ワーク

時間	プログラム	ねらい	学修内容	講師
10 : 55～ 11 : 40 (45 分)	1) 派遣決定から出発ま での準備 (ワーク) ・派遣決定までの調整と 準備 ・派遣決定から出発まで の準備 ・携行品 ・活動の原則	・災害時の看護職の 活動の実際を想 定することがで きる ・災害時に看護職と して活動する際 の基本的な心構 えがわかる ・災害時の看護職の	自己紹介（アイスブレイキング） 状況付与 1：災害発生 Q1. 派遣決定までの調整と準備 Q2 派遣決定から出発までの準備 Q3 携行品 状況付与 2：派遣決定	岩手県看護協会防 災・災害委員長 畠山亜紀子 演習助言講師 岩手県看護協会 防災・災害看護委員 竹内千尋 伊藤幸枝
11 : 40～ 11 : 55 (15 分)	2) 支援者としての心構 え	活動の展開と展 開にあたっての 留意事項がわか る	講義：支援者としての心構え（被 災者の尊厳、基本的な心構え、 被災者の心理的反応の時間経 過、支援する側の心理）	二橋千晶 野崎愛子

11:55～ 12:40 (45分)	3) 活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関・避難所）		講義:活動場所の違いによる活動の特徴 a. 医療機関での活動の特徴 b. 避難所での活動の特徴	
12:40～ 13:40	昼食			
	プログラム	ねらい	学習内容	講師
13:40～ 14:20 (40分)	4) 災害医療対応の原則 (ワーク) 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる 	講義:災害医療の対応の原則 (状況付与3 活動場所へ到着) Q4 活動の原則 Q5 安全管理 Q6 多職種・他機関との連携	講師・演習助言講師 岩手県看護協会 防災・災害看護委員 5名 岩手医科大学附属病院 副看護部長 高橋 弘江
14:30～ 16:30 (120分)	5) 方針に沿った活動 (ワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送や発熱患者等の対応 ・新たな活動を依頼されたら ・記録と報告 ・活動終了に向けて ・帰還後に思うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の看護職の活動の展開と、展開にあたっての留意事項がわかる 	講義:方針に沿った活動 Q7 自分たちの活動方針を立てる (状況付与4 避難所での活動) Q8 救急搬送や発熱患者等への対応 Q9 新たな活動を依頼されたら (状況付与5 活動報告書の作成) Q10 記録と報告 Q11 活動終了に向けて Q12 帰還後に行うこと	
～16:35	6) まとめ			看護協会研修担当者

●集合研修2日目 (感染症対応) 11月26日(火)

*研修のねらい

1. 感染拡大や重症化予防に向け医療機関やそれ以外の施設の特徴を踏まえた標準予防策及びゾーニングの基礎を学ぶ。
2. 個人防護具を装着したまま、安楽な呼吸へのケアを体験的に学ぶ
3. 派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ
4. 派遣の事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を学ぶ

*研修日程及び講師

時間	プログラム	学習内容	講師
9:30～ 9:40	オリエンテーション		岩手県看護協会研修担当者
9:40～ 10:40 (60分)	1) -①感染拡大・重症化の予防	①ゾーニングを体験し、ゾーニングの考え方の基本や留意点を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーニングを実施する ・ ゾーニングの考え方や留意点を学ぶ ・ 派遣先でゾーニングの実施を求められた場合の対応と留意点 	感染管理認定看護師 近藤啓子
10:50～ 11:30 (40分)	3) 多職種連携による医療提供	派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣時の活動の原則、派遣先での指揮命令系統の確認、医療機関以外での多職種連携の留意点を学ぶ <学習のポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣時の準備・心構え ・ 派遣先における指揮命令系統の確認 ・ 報告・連絡・相談の重要性の理解及びそのルートや方法 ・ コミュニケーションの重要性 	クリティカルケア認定看護師 佐々木美里
11:30～ 12:10 (40分)	4) 患者家族へのケア(看取り・死亡時のケア含む)	事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を学ぶ。未知の感染症に罹患したご遺体への対応を学ぶ。 <学習のポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者・家族への看護職としての対応や留意点 ・ 未知の感染症に罹患したご遺体への対応 	クリティカルケア認定看護師 佐々木美里
12:10～ 13:10	昼食・休憩		
13:10～ 14:20 (70分)	1) -②感染拡大・重症化の予防	②個人防護具の着脱を体験し、標準予防策の基礎を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人防護具の着脱が正しく行える ・ 医療機関以外の場所が想定できる 	集中ケア認定看護師 鎌田景子

<p>14 : 30～ 15 : 40 (70分)</p>	<p>2) 安楽な呼吸を保つための看護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 个人防护具を装着したままで安楽な呼吸へのケアを経験する ・ 个人防护具の着脱が正しく行える <p><学習のポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽症患者への対応 ・ 重症患者への対応 ・ 感染対策を守れない患者への対応 	<p>クリティカルケア認定 看護師 橋本博明</p> <p>《ファシリテーター》 感染管理認定看護師 近藤啓子</p> <p>クリティカルケア認定 看護師 佐々木美里</p> <p>集中ケア認定看護師 鎌田景子</p> <p>認定看護管理者 高橋弘江</p>
<p>15 : 40～ 16 : 00 (20分)</p>	<p>まとめ</p>		<p>岩手県看護協会研修担当者</p>